

新庁舎の建設工事に着手しました

問 財政課管財係 ☎(22)2111 (内線328)

新庁舎の実施設設計が完了し、2月からいよいよ建設工事が始まりました。

安全祈願祭・起工式

1月27日、新庁舎建設地で起工式を執り行いました。

当日は、施工業者主催の安全祈願祭が行われ、市長、市議会議員、地元区長、設計者などの関係者が出席し、工事の安全と庁舎の無事の竣工を祈願しました。

続けて、市主催の起工式を開催し、池田市長は「新庁舎は、危機管理の中心的な役割

▼起工式の様子



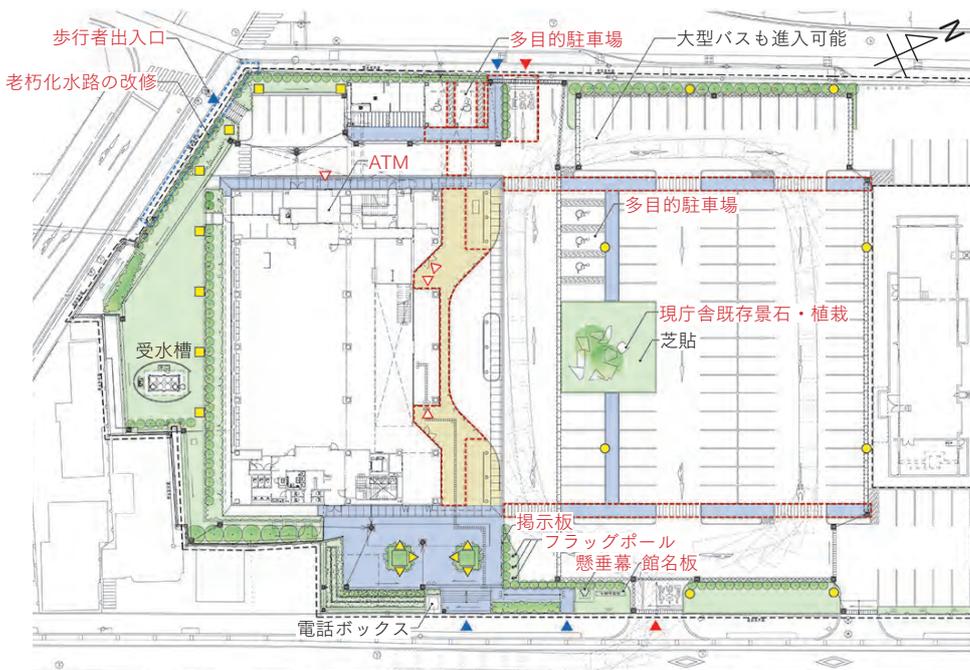
を果たすための必要な構造と機能を備え、誰もが利用しやすい協働のまちづくりの拠点となり、環境にやさしく将来の変化に柔軟に対応できるように建設するものであります」と述べました。

新庁舎は、鉄骨造、6階建て（最上階は屋上機械室）、免震構造、延べ床面積6471.23㎡で、来年2月の供用開始を目指しています。

新庁舎の外観・外装・外構

周辺の景観との調和を図るため、東西面は落ち着いたシルバー色の素材とします。腰壁・庇軒天・外装ルーバーには、色調豊かな木柄を採用し、暖かく親しみのある庁舎を実現します。

駐車場は、安全面に配慮し、車と歩行者を明確に区分します。



凡例	▲ 車両出入口	■ 花崗岩舗装	● ポール灯	⊞ 融雪範囲
	▲ 歩行者出入口	■ インターロッキング舗装	● 庭園灯	⊞ 改修範囲
	▲ 来庁者出入口	■ 植栽・芝 (別途工事)	▼ スポットライト	

花崗岩舗装



舗装イメージ

インターロッキング舗装



舗装イメージ

サイン（案内表示）計画

すべての人に分かりやすく、使いやすさ（ユニバーサルデザイン）を基本に、将来の変化にも対応できるサインとします。

◆使用書体

UDフォント（文字）を使用します。UDフォントは、「文字のかたちがわかりやすい」「文章が読みやすい」「読み違えにくい」という特徴があります。

◆サインの色

多くの窓口を色によって区別した分かりやすいサインとします。色は「赤」「青」といった言葉にできる色を採用することで、来庁舎・職員の双方にとって意思疎通しやすい構成とします。

◆サインの表示方法

色・英数字を使用し、外国人の方や色覚に障がいのある方にもわかりやすいサインとします。案内表示は更新しやすい仕様とすることで、将来の変化にも対応します。



▲ UD フォント



▲サイン（案内表示）の色



▲サインの表示方法

新庁舎で新たに採用する
設備・施設・技術

① 免震構造
免震層を建物下部に設け、建物に伝わる地震の揺れを低減します。



② 防災対策（3日間の使用を想定）
非常用発電機で、電力が遮断した際も庁舎に電力を供給します。また、受水槽容量を大きくし、トイレ用・飲料用の水を確保します。

③ 環境配慮技術
太陽光発電設備、LED照明、階段室の自然換気により環境にやさしい庁舎を実現します。

④ バリアフリー化対応
すべての人の使いやすさ（ユニバーサルデザイン）に配慮し、誰もが利用しやすい庁舎、協働のまちづくりの拠点となる庁舎を実現します。



⑤ 市民交流と市政への参加
市民のプライバシーに配慮した個別室・仕切りを設け、安心して使いやすい庁舎を実現します。また、市民が自由に利用できる市民ラウンジ・多目的サロン・展望ロビー・屋外広場を設け、市民交流を促進します。



⑥ 安全配慮
駐車場は歩車分離を明確にするとともに融雪装置を設け、安全面に配慮します。



⑦ 可動間仕切り壁
会議室の効率的で多様な利用を可能にします。

⑧ O.Aフロア（二重床）の設置
情報機器の更新が容易になり、維持管理のしやすさ（メンテナンス性）が向上します。

⑨ ATMコーナー
閉庁時も利用可能な現金自動預け払い機（ATM）コーナーを設置します。



現庁舎前駐車場は全面使用できません。工事期間中に本庁舎や市民会館を利用される方の駐車場につきましましては、左図のとおりとなります。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

工事期間中の臨時駐車場

※本工事は設計・施工での発注であることから、施工段階においても、よりよい庁舎となるよう設計を変更することがあります。

⑩ 中野市産材の活用
自動扉・天井の一部（ルーバー）に活用します。

